

**Y C E 委員会**





ライオンズ活動の基本組織でもあるライオンズクラブが、自らの名誉と責任の下に選考し、決定したユースである。ライオンズ精神に関する適切な理解と協力にすぐれた能力を発揮できるユースである。

国際的視野の下、YCEを通して得た経験を直接間接に他の者に広めることによって、国際理解、親善、友好、協調を促進し、将来、日本ならびに世界で貢献できるユースである。

自由と平和について穏健かつ明朗な思想を持ち、すすんで訪問国の人々の中にとけ込む努力をする行動力あるユースである。

自国のすぐれた礼節を体得し、守ることのできるユースである。

YCE活動の真意である「自らの日常生活をありのままに 海外の家庭で示し、相互の友好はもとより、自分の人生生活の向上に役立たせる」努力を素直に実行できる意志力のあるユースである。

訪問国の法律を誠実に理解し、遵守する意志のあるユースである。

ホスト家庭に対して、いささかでも不快、迷惑その他不都合な感情、行為を与えないことを誓約できるユースである。

精神、身体の健康について、いささかも不安のないユースである。

派遣国のライオンズYCE責任者が与えた注意事項、指示事項を十分理解し、忠実に遵守できるユースである。

YCE計画に参加して得た経験を、自己の人生に建設的な1ページとして加えることのできるユースである。

## YCE事業とは

YCE 事業とは、ライオンズクラブのスポンサーの支援  
で  
海外へ留学する事が出来る交換制度です。

### 【目的】

前途有為のユースがライオンズクラブのスポンサーにより  
招かれて外国を訪問し、指定の家庭に一定期間滞在し家  
族の一員として待遇されます。この間異国の地域社会と観  
察体験しつつ、訪問先の人々とのman-to-manの関  
係を通じて相互理解を深め、新しく友愛が生れ国際感覚を  
養い、親睦と協調の精神をつちかい、しいては世界平和に  
寄与することが目的です。

1. 青少年たちに外国の若人と親しく接する機会を与えます。
2. 異なった文化背景をもつ社会における日常生活を経験させま  
す。
3. ライオニズムを通して国際理解と親善を促進します。

## 運営

YCEはライオンズクラブのアクティビティです。地区YCE委員会は実施  
にあたって、複合地区YCE委員会との密接な連絡のもとに運営され、  
一対一の原則、つまり一人派遣するので一人を受け入れるという原則  
を遵守します。

## 起源

1957年に結成された神戸イーストクラブでは、ライオニズムの高揚と  
国際親善のため、アメリカのクラブとの間で子弟の交流を深めてはどうか  
と考え、地区大会の課題として提出し続け、1960年、M・バーシュ  
タイン国際理事らが来日した機会に、日米交換学生計画が話し合われ  
ました。これをきっかけにして計画は具体化に向かって、日米夏期交  
換学生委員会が組織され、計画はゾーン会議の承認の下、1961年7  
月、日本9人、アメリカ13人の学生が相互に派遣交換され、これが現  
在に至る青少年交換(YE)の第一号となっています。

そして、1961年10月、マイアミでの国際理事会で青少年交換(YE)  
計画が承認され、1962年に国際理事会で正式な青少年プログラムと  
認められ現在に至ります。

# YOUTH CAMPS EXCHANGE 青少年 キャンプ 交換

- ・ 青少年に外国の人と親しく接する機会を与える
- ・ 異なる文化背景を持つ家庭や地域社会の生活を経験させる
- ・ ライオニズムを通して国際理解と親善を促進する

☆個人の成長と親善大使としての役割☆

337-Dでは「派遣」と「受入」を「夏」と「冬」に

# 派遣先 D地区の例

2016-2017

冬 ニュージーランド マレーシア

夏 マレーシア 台湾 シンガポール

2017-2018

冬 メキシコ オーストラリア マレーシア

夏 マレーシア 台湾 シンガポール

2018-2019

冬 イタリア

夏 マレーシア シンガポール

2019-2020

冬 イタリア マレーシア

# 派遣生になるため

○募集の時期のめやす

夏・・・前下期の2月

冬・・・期中上期の10月

○応募の資格

年齢・・・出発日現在満16歳以上21歳まで

対象・・・ライオンズ会員の子女，ノンライオンいずれも可

○スポンサークラブの協力

旅費・・・マレーシア20万程をクラブと保護者

協賛金(制服代・保険代・オリエンテーション) 55,000円

○学校からの協力

# 派遣に向けて

○オリエンテーション出席義務

4回構成で「ライオンズ」並びに「日常英会話の研修」

最終回で旅行代理店と保険会社からの説明

○地区ガバナーから修了書授与

「壮行会」

「出発」



# 帰国報告会



・ホストファミリー  
との交流風景



・現地の学校の  
仲間と

鹿児島中央LCスポンサー  
別枝寛仁さん

(派遣先：マレーシア)

2018年 8/1～8/17

マレーシアの学校では、日本の学校の試験の受け方・内容が違うことに驚いた。今回の派遣を経て違う国の文化を学ぶことができ、外交官になるという夢に近づいた。～帰国報告会レポートより～

(鶴丸高校時代にマレーシアにホームステイした別枝さんは現在、東京大学に通い、外交官になるという夢のため頑張っている。)

# 受入れ D地区 例

2016-2017

冬 シンガポール

夏 メキシコ デンマーク ノルウェー フィンランド

2017-2018

冬 マレーシア ニュージーランド

夏 ドイツ トルコ フィンランド ウェストバージニア

2018-2019

冬 マレーシア オーストラリア シンガポール スロベニア

夏 ベルギー オランダ イタリア フランス フィンランド

2019-2020

冬 東マレーシア

# 来日生受け入れ

○時期のめやす

夏・・・前下期の10月

冬・・・期中上期の8月中旬

○ホストクラブの協力

メンバーの協力 セカンドファミリーの準備

○ホストファミリーとして

全期間1家庭もしくはは2～3週間ずつ

ホストファミリー向けオリエンテーション

家族構成を知らせ来日前からコミュニケーション

○興味はあるが英語が・・・ ⇒ スマホ

来日生を家族の一員として



# 日本の生活を体験



# CAMP

各複合単位でキャンプを実施

337複合は夏に開催

来日生同士の交流をはかる





# 冬期鹿児島R・CAMP



**ご清聴ありがとうございました**  
**「受入れ」と「派遣」**  
**何卒よろしくお願ひ申し上げます**